

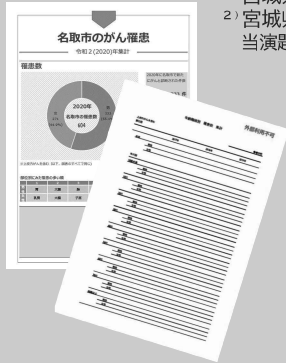
市町村による P 3-6 全国がん登録情報の 活用支援における集計方法

佐藤洋子¹⁾ 金村政輝^{1) 2)}

¹⁾ 宮城県立がんセンター宮城県がん登録室

²⁾ 宮城県立がんセンター研究所がん疫学・予防研究部

当演題発表に関し開示すべきCOIはありません。



がん登録情報活用支援事業の集計結果
(宮城県立がんセンターのホームページ)



背景

宮城県では、がん登録等推進法第19条の利用が進んでいない。そこで我々は令和3年度から活用支援を目的とした無償のモデル事業を開始した。

目的

全国がん登録情報が市町村のがん対策に有益な情報であることを認識いただくことを目的とし、わかりやすいグラフや集計を提供し利用・公表していただくことで、全国がん登録情報の活用が進むと考えた。

方法と工夫

1. 手戻りのロスを軽減する工夫

A) AccessとExcelの組み合わせ

集計元データはひとつ

Accessで整えたデータを読み込むことで、データの切り取りを間違えたとしても、やり直しの範囲が最小限にできる。

B) 集計用の独自コード表を作成

わかりやすい部位に集計するためにICD-10コードを22種類と24種類に分類。

例えば、口腔・咽頭として集計したい場合、65種類、胃で集計したい場合、9種類のICD-10コードが存在する。

C) 項目の統一

提供されたデータから必要項目を絞り込みすることで、パッケージ化できる。項目を統一することで、別の自治体を作成する場合や次年度もデータの読み込みから作業できるので、時間短縮となる。

2. 人的ミス避ける工夫

A) 条件により集計

よく使う関数

- ◆ VLOOKUP
- ◆ IF
- ◆ IFS
- ◆ COUNTIFS
- ◆ IFERROR
- ◆ AND

これらの関数を組み合わせて使用。

B) 集計結果をコピーしない

集計と納品用の様式を分けない。

集計結果を見やすい様式にコピーするとき、結果を取り違えることのないようにExcel関数の組み合わせで、条件に一致した集計を行う。

◆ 集計用のコード表

ICD-10コード	部位	宮城県独自集計コード				国がん標準集計表コード			
		M_ma28	M_de55	M_de55	M_ma21	H_de23	H_de23	H_de23	H_de23
C000	外唇上唇	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C001	外唇下唇	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C002	外唇口唇、部位不明	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C003	上唇、内唇面	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C004	下唇、内唇面	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C005	口腔、部位不明、内唇面	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C006	舌交差	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C008	口腔の境界部肉腫	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C009	口腔、部位不明	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	口腔	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C01	舌根・扁桃腺	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	舌	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C020	舌癌	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	舌	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭
C031	扁桃	M_ma28	口腔・咽頭	M_de55	舌	H_de23	口腔・咽頭	H_de23	口腔・咽頭

◆ 例えば、条件1・・・集計年は、2020年

条件2・・・部位は、大腸

条件3・・・性別は、男性

条件4・・・上皮内がんを含まない罹患数

=COUNTIFS(元データ!診断年, 2020, 元データ!集計コード, 大腸, 元データ!性別, 1, 元データ!上皮内コード, C)

元データ	ICD-10	診断年	性別	和名	集計コード	詳細集計コード	上皮内コード
	D010	2019	1	結腸	大腸	結腸	D
	C189	2020	1	結腸、部位不明	大腸	結腸	C
	C19	2019	2	直腸S状結腸移行部	大腸	直腸	C
	C20	2018	2	直腸	大腸	直腸	C
	C210	2020	2	肛門、部位不明	その他	その他	C
	C33	2020	1	気管	肺	肺	C

結果

リーフレット、詳細集計ともに様式として作成することで、1度作成したものを複写して使用できるので量産できた。また、データの取得から提供までの時間が短縮されたため、市町村からも高評価を得た。

課題

参加市町村数の増加を望むも増加することで推計人口の計算など個別対応の煩雑さが課題である。また、人口規模の小さな市町では0が多くデータの欠けたグラフになり0処理など体裁の修正も時間を要した。集計は効率的になったが、関数のない整った様式のExcelシートを作成するには値だけのコピーが必要となり、人手を要することが課題である。